

新入生の皆様へ

ノートパソコンの準備について

東京海洋大学では、我が国における情報化の進展を踏まえ、情報通信技術の十分な活用能力を有する人材を育成し、それらの技術を活用した教育の提供を目的に、ノートパソコンを必携としています。遠隔授業の受講、授業の履修登録や大学からの各種通知の受取、レポートやプレゼンテーション資料の作成・提出などの学修活動、課外活動や就職活動など、キャンパスライフの様々な場面でパソコンが必要となります。特に、上述したように、学内で遠隔授業を受講するには、無線LANに接続できるノートパソコンの持込みが必要となります。

今後、ノートパソコンを準備するにあたり、下表のデバイスおよび推奨スペックを参考にしてください。

ただし、あくまで推奨スペックであり、現在所有しているノートパソコンがこのスペックを満たしていなくても、直ちに使用できないというものでもありません。もしやってみて使用できなかった場合や事情により新たにノートパソコンを入手することが困難な場合には、数に限りがありますが、一時的に本学のノートパソコンを貸し出すことも可能です。

なお本学では、アプリケーションソフトウェア（Microsoft Officeなど）とウイルス対策ソフトウェアをそれぞれ包括契約しており、本学の学生は在籍期間中無償で使用できます。（※1）このため、新たにノートパソコンを準備される際には、Officeソフトウェア（Microsoft Office）の無いモデルでも支障ありません。（※2）

また、遠隔授業（オンライン授業）の受講方法、準備等については、遠隔授業（オンライン授業）ガイドのページ（https://lib.s.kaiyodai.ac.jp/online_lecture/）を参照し、確認してください。

<推奨するノートパソコンの要件：2026年度入学者>

形状	ハードウェアキーボード（着脱式のキーボードも可）を備えるノートパソコン
OS	最新のWindows OS、Mac OS（Macの場合は自力でトラブル対応できること）
CPU	Intel Core i5（第12世代以降）と同等以上（オクタコア（8コア）以上を推奨）
メモリ	最低8GB以上（16GB以上推奨）
記憶装置（ストレージ）	256GB以上のSSDまたはHDD（ファイルの読み書き早く、耐衝撃性に優れるSSDを推奨）
ディスプレイ	12インチ以上
外部インターフェイス	外部ディスプレイ等に接続できること（VGAまたはHDMI（変換アダプタ対応でも可））；USB3.2以上；イヤホンとマイクが利用できること

	(USBやBluetooth接続対応でも可)
無線LAN	IEEE 802.11 ac以降の規格に準拠 (必須ではないが、IEEE 802.11 ax (Wi-Fi6) の規格に準拠していることが望ましい)
バッテリー駆動時間	10時間程度以上(15.5時間以上推奨)
その他	カメラ、マイク、スピーカーを内蔵し、軽量・薄型の機種を推奨する。光学式ドライブは内蔵型ではなく、必要に応じ外付けドライブを使用することを推奨する。必須ではないがヘッドセットやマイク付きのイヤホンを準備しておくことが望ましい。

(※1) 本学が包括契約しているウイルス対策ソフトウェア Trend Micro Apex One は、Snapdragon X等、Armアーキテクチャを搭載したPCは非対応となります。Armアーキテクチャを搭載したPCを購入する場合は、自分でウイルス対策ソフトウェアを用意する必要があります。

(※2) Microsoft Officeなしの上記推奨スペックを満たしたパソコン(学内修理受付・修理期間中代替PC無料貸出・4年間保障等含む)は東京海洋大学生協で販売しています。

(https://text.univ.coop/puk/START/tumsat/entrance/entrance_180.html)

合わせて、遠隔授業の受講のために、自宅等住居でのインターネット接続環境の整備を推奨いたします。

《問合せ先》

1 遠隔授業に関すること

(1) 海洋生命科学部・海洋資源環境学部

教務課 教務係 k-kyomu1@o.kaiyodai.ac.jp

(2) 海洋工学部

越中島地区事務室 教育支援係 e-kyomu@o.kaiyodai.ac.jp

(3) 大学院海洋科学技術研究科

教務課 大学院係 k-dai@o.kaiyodai.ac.jp

2 パソコン等の貸出に関すること

教務課 総務係 k-soumu@o.kaiyodai.ac.jp

3 Officeなどツール、技術的な内容に関すること

I C T サ ポ ー ト ict-support@o.kaiyodai.ac.jp